

# 【本邦における生殖補助医療（ART）後妊娠における癒着胎盤（PAS）の発生頻度およびその関連因子に関する観察研究】

## に対するご協力をお願い

研究代表者 所属 久留米大学医学部産婦人科学講座  
職名 教授 氏名 吉里俊幸

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（生殖に関する諸登録）を用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会の許可ならびに久留米大学病院の倫理審査委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

### 1 対象となる方

西暦 2007 年 1 月 1 日より 2020 年 12 月 31 日までの間に、生殖に関する諸登録の参加施設で、体外受精を受け、胚移植後に出産された方

### 2 研究課題名

施設倫理審査委員会の承認番号 ●●●●●●●●

日本産科婦人科学会の許可番号 ●●●●●●●●

研究課題名 本邦における生殖補助医療（ART）後妊娠における癒着胎盤（PAS）の発生頻度およびその関連因子に関する観察研究

### 3 研究実施機関

久留米大学医学部産婦人科学講座 吉里俊幸

### 4 本研究の意義、目的、方法

凍結融解胚移植は新鮮胚移植と比較し、癒着胎盤の発症リスクが高いと報告されています。本邦では、生殖補助医療（以下 ART）をうける患者の高齢化と凍結融解胚移植後妊娠による出生児の増加により、癒着胎盤の発生頻度が上昇している可能性があります。明らかではありません。本研究では、ART 後妊娠における癒着胎盤の発生頻度の変化、及びその関連因子を明らかにすることを目的としました。本研究から得られる結果により、妊娠中のリスク管理が向上すると考えられます。

## 5 協力をお願いする内容

治療を受けた際に収集した患者さんについての情報(年齢、夫の年齢、BMI、妊娠・分娩歴等)、治療の内容(ART 適応、卵巣刺激方法、移植胚の種類、授精方法、精子回収法、胚移植時の胚の発育段階、移植胚数、AH の有無、黄体期管理等)、臨床成績(臨床妊娠の有無、妊娠転帰、出産児数、出生児の性別、分娩様式、産科合併症の有無等)を使用させていただきます。

また本研究ではすでに登録されたデータを使用するため、新たに情報を入手することはありません。

## 6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2025 年 3 月 31 日

## 7 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で日本産科婦人科学会から提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、【情報の利用や他の研究機関への提供（研究内容に応じて適宜記載）】の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。

研究代表者 吉里俊幸

研究分担者 藤田智之

〒850-0011 福岡県久留米市旭町 67 番地

TEL:0942-35-3311

FAX:0942-32-6278

Email: [fujita\\_tomoyuki@med.kurume-u.ac.jp](mailto:fujita_tomoyuki@med.kurume-u.ac.jp)

日本産科婦人科学会事務局

TEL: 03-5524-6900

FAX: 03-5524-6911

Email: [nissanfu@jsog.or.jp](mailto:nissanfu@jsog.or.jp)